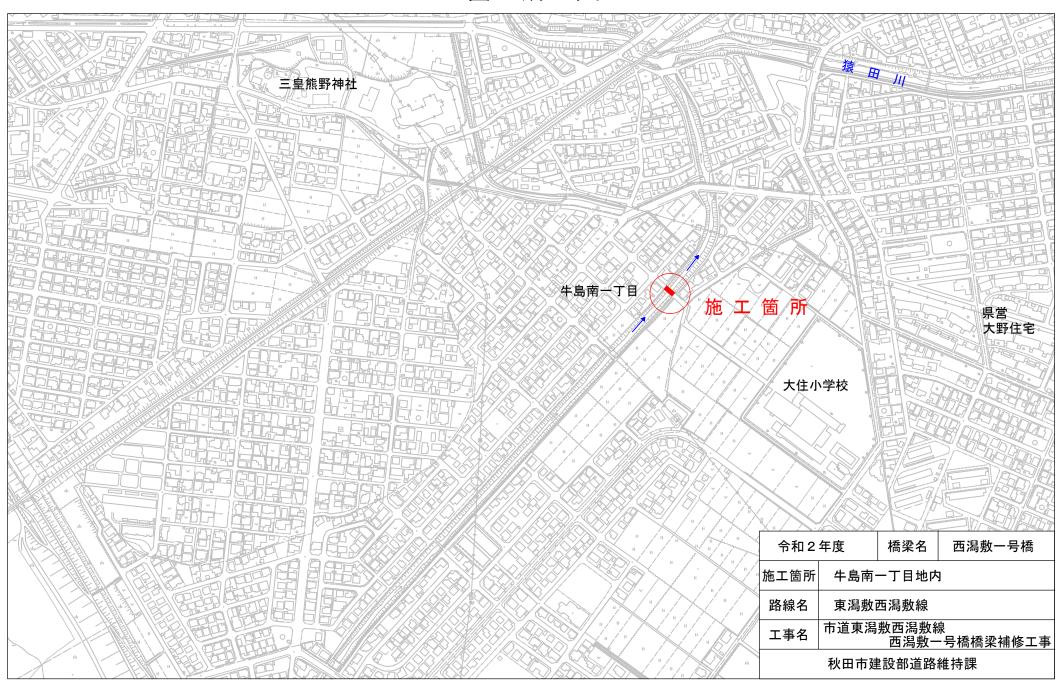
設 計 書

	<u> </u>	担当 設計担当者 道路維持課 維持第一担当 リーダー 印印
年 度	令 和 2 年 度	作成年月日 令和 2 年 7月 13日
工事名	市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事	工 事 概 要 西潟敷一号橋 橋長:L=13.55m 全幅員:W=6.2m
施工位置	牛島南一丁目地内	橋梁補修工 (コンクリート部材) 一式 橋面防水工 A=66㎡ 橋面舗装工 A=66㎡
設 計 金 額		伸縮継手工 L = 1 0 m 橋梁用高欄工 L = 2 7 m
財源区分	[国補]・県補・市単	
施工期日	令和2年12月18日 (金)まで	主任監督員 () T事監督員 ()

箇 所 図



工 事 名:市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事

施工箇所: 牛島南一丁目地内

特記仕様書(施工条件明示一覧表)

- ・下記の明示事項・条件及び内容のチェック印該当欄は、共通仕様書等に記載されている制約事項以外について明示するものである。
- ・明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生した場合は、監督員と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
- ・別途協議とは、設計・現場説明又は打合簿等により協議するものとする。

明示項目	明	示 事	項	条	件	及	び	内	容
工程関係	□他工事との工程調	整の必要あり		□調整項目	□資材等の	流用 □仮設及び	び工事用道路等	の調整 」建設	幾械等の調整
					□施工箇所	□施工順序の記	調整 □別途協	議	
					□その他()			
	☑施工時期、施工時	間及び施工方法の制	削限あり	図制限する工種名	(橋面舗装、橋	面防水、伸縮装置	置、防護柵、地	覆補修)	
				☑施工時期及び施工時間	(橋面施工時)				
				図施 工 方 法	(車両通行止)				
	□他機関との協議が	未完了		□協議が必要な機関名	()				
				□協 議 内 容	()				
				□協議完了見込時期	()				
	☑占用物件の確認の	必要あり		☑占用物件名	□電気□	電話 図上水道	□下水道 区	】ガス □その他	, ()
				⊠物件の確認	□確認済	☑未確認			
	□その他()			□その他()					
用地関係	□用地および補償物	件の未処理箇所あり)	□未処理箇所	□別添図	\square No. \sim	□別	途協議	
				□完了見込時期	□令和	年 月	旬頃 □別	l途協議	
	□仮設ヤードあり			□仮設ヤード	□官有地	□民有地]その他() □別途[協議
				□仮設ヤード使用期間	(令和 年	月 日	~ 令和	年 月	目)
				□現場からの運搬距離	(L= k:	m)			
				□使用条件・復旧方法	()				
	□その他()			□その他()					
工事用道路関係	□一般道路(搬入路)の使用制限あり		□進入(搬入)経路	□別添	図等 □その位	他 ()	□別途協議	
				□使用期間の制限内容	¥ ()				
	□仮設道路の設置条	:件あり		□使用中及び使用後の措置	□別添	図等	他()	□別途協議	
				□用地及び構造	□別添	図等	他 ()	□別途協議	
				□安全施設	□別添	図等 □その	他()	□別途協議	
	□その他 ()			□その他 ()					

明示項目	明 示 事 項	条	件 及 び 内 容
公害対策関係	⊠施工方法の制限あり	☑制限項目	☑騒音 ☑振動 □水質 図粉じん 図排出ガス □その他()
		□施工方法	□指定工法 () □別途協議 □その他 ()
		□施工時期	□令和 年 月 旬頃 □別途協議
	□事業損失防止に関する調査あり	□調査項目	□騒音測定 □振動測定 □水質調査 □近接家屋の事前・事後調査
			□地盤沈下測定 □地下水位等の測定
			□その他()
		□調査方法	□別添資料 □別途協議 □その他()
		□調査費	□計上あり □別途協議 □その他()
	□その他 ()	□その他()	
安全対策関係	☑交通安全施設等の指定あり	☑交通安全施設等の配置	□別添図面 □別途協議 □その他 ()
		☑交通誘導員の配置	□別添図面 □別途協議
			☑配置員種別 (B)
			☑配置人員数(昼間)(2人/日・4日・計8人)
			□昼間勤務交代要員あり
			□配置人員数(夜間)(人/日・ 日・計 人)
			□夜間勤務交代要員あり
			□その他()
	□近接公共施設等に対する制限	□施工時間の制限	
		□工法の制限あり	
			の配置(□鉄道 □電気 □電話 □水道 □ガス □その他())
		制限を受ける工程	
		•制 限 内 3	
	□土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□安全防護施設等の配置	
		□保安要員の配置	□別添図面 □別途協議 □その他()
			□配置員種別()
			□配置人員数 (人/日・ 日・計 人)
	□有毒ガス・酸素欠乏等の対策	□換気設備等の配置	□別添図面 □別途協議 □その他()
		□危険防止対策の工法	
	□イメージアップ経費適用工事	□イメージアップの内:	谷 (
サルフ目が	□その他() □ マの他() □ マの他() □ マッカー・ロック ロック・ロック ロック ロック ロック・ロック ロック ロック ロック ロック ロック ロック ロック ロック ロック	□その他()	
排水工関係	□濁水、湧水等の排水に制限あり	□項目及び基準値()
	□水質調査等の必要あり	□調査項目()	
	□その他()	□その他()	

明 示 項 目	明	示	事 項	条	件 及 び 内 容
建設発生土・建設	□建設発生土			□処分方法	□投棄処分 □他工事利用 □指定処分 □自由処分
廃棄物関係					□再生処分 □その他()
				□処分(受入)地	□別添図等 □別途協議 □その他()
	※投棄処分却	および再生処分	}が選択されている場	合	□場所()
	において、	当該処分(受力	八) 地へ運搬しない場合	↑、 □処分地の処理条件	□押土整地 □その他()
	また、発生	土の性状を十	分見極め再利用可能な	□処理(受入)費等	計上あり □処理(受入)費 □押土整地 □その他()
	場合は、監	[督員と別途協	議すること。	□現場からの運搬距	離(L= km)
	☑コンクリート塊			☑処分地	☑再生(中間)処分場(浜田地内) □最終処分場()
					□別添図書 □別途協議
	※再生(中	『間)処分場お	よび最終処分場が選択		□その他()
	されてい	いる場合におい	て、当該処分場へ運搬	☑処理(処分)費計上あり	☑処理(処分)費 □その他()
	しない場	合は、監督員	と別途協議すること。	☑現場からの運搬距	離 (L=6.5km)
	☑アスファルト殻			☑処分地	☑再生(中間)処分場(浜田地内) □最終処分場()
					□別添図書 □別途協議
	※再生(中	間)処分場お	よび最終処分場が選択		□その他()
	されてい	いる場合におい	て、当該処分場へ運搬	☑処理(処分)費計上あり	☑処理(処分)費 □その他()
	しない場	合は、監督員	と別途協議すること。	☑現場からの運搬距	離 (L=6.5km)
	□木材			□処分地	□再生(中間)処分場() □最終処分場()
					□別添図書 □別途協議
	※再生(中	間)処分場お	よび最終処分場が選択		□その他()
	されてい	いる場合におい	て、当該処分場へ運搬	□処理(処分)費計上あり	□処理(処分)費 □その他()
	しない場	合は、監督員	と別途協議すること。	□現場からの運搬距	離 (L= km)
	□汚泥			□処分地	□再生(中間)処分場() □最終処分場()
					□別添図書 □別途協議
	※再生(中	『間)処分場お	よび最終処分場が選択		□その他()
	されてい	いる場合におい	て、当該処分場へ運搬	□処理(処分)費計上あり	□処理(処分)費 □その他()
	しない場	合は、監督員	と別途協議すること。	□現場からの運搬距	離 (L= km)
	□その他()		□処分地	□再生(中間)処分場() □最終処分場()
					□別添図書 □別途協議 □その他()
				□処理(処分)費計上あり	□処理(処分)費 □その他()
				□現場からの運搬距	離 (L= km)
				□その他 ()	

明示項目	明	事	項		条	件	及	U	:	内		容
仮設備関係	□仮設備の設置条件は	50		□使用期間	()							
				□借地条件	()							
				□転用あり	()							
				□兼用あり	()							
				□引継あり	()							
	□仮設物の構造及び放	6工方法の指定		□構造及び記	设計条件		別添図等	□その他()	□別途	協議	
				□施工方法	()							
	□その他()			□その他	()							
薬液注入関係	□薬液注入工法等の打	旨定あり		□工法区分	()							
				□材料種類	()							
				□施工範囲	()							
				□削孔関係	()							
				□注入量	()							
				□その他	()							
	□提出書類あり			□工法関係	()							
				□材料関係	()							
	□確認事項あり			□注入量	□注入の管理	! □注え	入の効果	□その他()			
	□その他()			□その他	()							
地盤改良関係	□工法等の指定あり			□工法区分	()							
				□材料種類	()							
				□施工範囲	()							
				□その他	()							
	□提出書類あり			□工法関係	()							
				□材料関係	()							
				□試験関係	()							
	□確認事項あり			□配合□□	現場 CBR 値 📗]その他()					
	□その他()			□その他()							
工事支障物件関係	☑工事支障物件あり			□電気			□移設時	期(令和	年	月	日頃	□別途協議)
				□電話			□移設時	期(令和	年	月	日頃	□別途協議)
				⊠上水道			□移設時	期(令和	年	月	日頃	☑別途協議)
				□下水道			□移設時	期(令和	年	月	日頃	□別途協議)
				□ガス			□移設時	期(令和	年	月	日頃	□別途協議)
				□有線			□移設時	期(令和	年	月	日頃	□別途協議)
				□その他()		□移設時	期(令和	年	月	日頃	□別途協議)

明 示 項 目	明	示	事	項	条	件	及	び	内		容
再生材使用関係	図再生材使用の	指定あり			図再生材の種類		図再生アス	スコン □再生路	盤材	図再生クラゞ	ッシャーラン
							□その他	()			
					図再生材が使用でき	きない場合の措置	□新材に変	変更 図別途協議	a de la companya de l		
							□その他	()			
	図再生アスコンへの	溶融スラグの	つ混入		⊠溶融スラグ混入の	D有無	図有 □	無 □その他	())	
					⊠溶融スラグ混入台	合材の種類	☑再生密料	位度アスコン(13)	Ī	再生密粒度で	^ア スコン(20)
							□再生粗料	位度アスコン(13)	Ī	再生粗粒度で	アスコン(20)
							□その他	()			
					⊠溶融スラグ混入が	使用できない場合	□新材に変	変更 □その他	ī ()	
							☑別途協請	复			
	図再生クラッシャーラン	の規格			\boxtimes RC-40		⊠粒度範囲	囲は、舗装再生便	覧の「拝	再生クラッシ	ノャーランの望ま
					\square RC-80		しい粒度	「範囲」の規格に	適合する	るものとする	0
							図再生クラ	ラッシャーランの	粒度につ	ついて、確認	忍できる試験結果
							または品	占質を証明する資	料を、値	使用する前に	二監督員に提出す
							ること。				
	■秋田県認定リ	サイクル製品	品の使用		■秋田県認定リサイ						
						道境界ブロック(
						コンクリートU型側					
						コンクリートU型側	溝蓋 ()				
						可配側溝 ()					
					_	可配側溝蓋 ()					
						コンクリートベンチ	,)			
						コンクリート排水フ)			
			トャストコンク		■秋田県認定リサイ			□種類(上記.	以外のフ	プレキャスト	工場製品)
		-	よ入りプレキャ	ストコンク	■秋田県認定リサイ	イクル製品が使用で	きない場合	□別途協議			
	リート製	品						□その他()		
	□その他()			□その他()						
適用条件					図秋田市土木工事≠						
					□上記仕様書の部分		(最新改訂 令和	年 月	F	∃)	
					□土木構造物設計で		編を適用				
					□その他()						
	_										
CORINS登録		※請負代	金額が 500 万	円以上の場合	■						
再生資源利用計画					⊠COBRISシ		資源利用(促進)	計画書(実施書	F) を作り	成し、契約網	帝結後14日以内
書					に監督員へ提出する	らこと					

明示項目	明	示	事	項	条	件	及	び	内	容
現場代理人	\boxtimes				☑兼務を認める					
		※常駐義	務緩和の要件	を満たす場合	□兼務を認めない					
監理(主任)技術者					□請負契約の締結の	の翌日から令和	年 月	月 日までは監理	理(主任)技術者	の専任を要しない。
					□請負契約の締結征	後、監督員と協議	して定めた現 り	湯施工に着手するま	での期間(現場	事務所の設置、資機材の
					搬入、仮設工事等	等が開始されるま	での間)につい	ては、監理(主任)打	支術者の工事現	場への専任を要しない。
					□工事完成後、発泡	注者が工事の完成	戈を確認した旨	、受注者へ通知した	こ日以降、事務	手続きおよび後片付け等
		※請負代金	:額が 3,500 万	円以上の場合	のみが残っている	る期間については	大、監理(主任)打	支術者の工事現場へ	の専任を要した	?\\.
担い手確保関係	図週休二日制モ	デル工事			図本工事は、秋田市					
	(受注者希望	型)			☑受注者は、受注	後速やかに当該る	モデル工事の希	望の有無について、	工事打合簿に、	より、監督員と協議する
					ものとする。					
					図協議により試行で	する場合は、「秋	田市建設部週休	二日制モデル工事	試行実施要領」	に基づき、実施するもの
					とする。					
電子納品	図工事完成図書				☑工事完成図書は智	電子納品とし、電	子データは、「こ	工事完成図書の電子	一納品等要領」に	基づいて作成すること。
					電子媒体の提出部	部数は1部とする	。なお、要領に	こ記載のない項目の	電子化および組	氏媒体による提出、また
					は、電子納品に。	よりがたい場合に	こついては、監督	督員と協議すること	0	
	☑工事検査				図検査に必要な電-	子機器類の準備お	3よび検査時の	機器操作は受注者が	ゞ実施すること。	
	□その他()			□その他 ()					
その他	□工事用機材の	保管及び仮置	置きの必要あり		□保管場所() □期間	()]その他()		
	□現場発生品あ	り			□品名()	□数量()			
					□保管場所() □その他	()			
	□支給品あり				□品名()	□数量() □引	度場所()		
					□時期(令和	年 月	旬頃)]その他()		
	□盛土材等工事	間流用あり			□運搬方法		□受注者	で運搬 □受注	者以外で運搬	□別途協議
							□その他	()		
					□引渡場所		□別添図	等 □別途協議	□その他 ()
					□数量()					
					□運搬距離(L=	k m)				
	□その他()			□その他 ()					

=補足事項=

・共通仕様書1-1-51「工事測量」に基づいた測量結果について、契約締結後、30日以内に監督員へ提出すること。また、その測量結果に基づき、現場と設計 図書を照査し、数値等に差異が生じた場合についても、同期間内に監督員と協議することとする。その協議内容について必要があれば、設計変更の対象とする。

工事名 市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一	号橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持·修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
梁保全工事							
		式	1				
舗装工		14	1				
			•				
路面切削工		式	1				
№1 m 24111 —							
마선 그를 [교기보다]	平均切削深さ:全面切削6cm以下(4000m2以下),段	式	1			774	1 II
路面切削 コンクリート切削	差すりつけ撤去作業:無し					単	1号
		m2	66				
殼運搬(路面切削)	殻種別:コンクリート殻					単	2号
		m3	3				
殼処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)					単	3号
		m3	3				
舗装打換え工		o					
		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装厚:50mm	14	1				4号
H. 1000							•
舗装版破砕	舗装版種別:7スファルト舗装版,舗装版厚:5cm	m	10				 5号
部						 	9 /2
Let your Live	+11 455 FOLL AND HALLE THEFTH	m2	32				
殼運搬	殼種別:舗装版破砕					単	6号
		m3	2				
殼処分	殻種別:アスファルト殻					単	7号
		m3	2				
表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格 :密粒度アスコン(13)改質Ⅱ型,舗装厚:50mm,平均幅員					単	8号
	3.0m超	m2	66				
表層(すりつけ部)	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度アスコン(13),舗装厚:50mm,平均幅員3.0m					単	9号
***	: 再生密粒度アスコン(13), 舗装厚:50mm, 平均幅員3.0m 超		0.0				•
		m²	32				

工事名 市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一長	号橋橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持·修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
不陸整正(すりつけ部)	RC-40, t=20mm						単 10号
		m²	32				
橋面防水工			92				
		式	1				
橋面防水	シート系防水		-				内 1号
		m²	66				
水切り設置	EPDM系ゴム製(材工共)	111	00				単 11号
		m	27				
橋梁付属物工		111	41				
		式	1				
伸縮継手工		14	1				
		式	1				
埋設ジョイント補修	ジョイント規格:埋設型,伸縮装置断面積:0.064m2,工	10	1				単 12号
	ジョクト規格:埋設型, 伸縮装置断面積:0.064m2, 工種: 補修, 取付部位: 床版箱抜型, 工法区分: 無, 補修形式: 1車線相当		10				
排水施設工		m	10				
		<u> </u>	4				
排水管	管規格:鋼管,材工共,コンクリート削孔,コンクリート取壊し、	式	1				内 2号
21/3/12	打設含		_				
橋梁用高欄工		m	7				
			_				
既存防護柵撤去		式	1				単 13号
장다 11 ISA IIII IIIA 전							TO 7
橋梁用高欄	材質:鋼製,作業区分:設置,高欄形式:橋梁用高監(m	26				内 3号
四八八月	材質:鋼製,作業区分:設置,高欄形式:橋梁用高覧(組立式),コンクリートアンカー用樹脂カブ セル,コンクリート削孔含						7,00
		m	27				
個末間修工							
		式	1				

工事名 市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋	持橋梁補修工事				事業区分 工事区分	道路維持·修繕 橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減 摘要
断面修復工						
		式	1			
左官工法 (地覆工、下部工)	1構造物当り修復延べ体積:0.1m3未満,材料種類: ポリマーセメントモルタル,鉄筋がい・鉄筋防錆処理:無し					単 14号
DT =0, LHE \H. U.L. LHI. L		構造物	1			
既設構造物撤去工						
		式	1			
運搬処理工						単 15号
		m3	1			
処分費						単 16号
		m3	1			
仮設工						
		式	1			
		14	1			
		式	1			
		IX.	1			単 17号
2 3 C 19V 1.7 C 1911/2 V						
直接工事費		人日				
上						
		式	1			
六世似苡						
		式	1			
共通仮設費 (率計上)						
		式	1			
純工事費						
		式	1			
現場管理費						
		式	1			

工事名 市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修	工事				事業区分 工事区分	道路維持·修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税額及び地方消費税額							
了·古典 3.		式	1				
工事費計							
		式	1				

参考図書

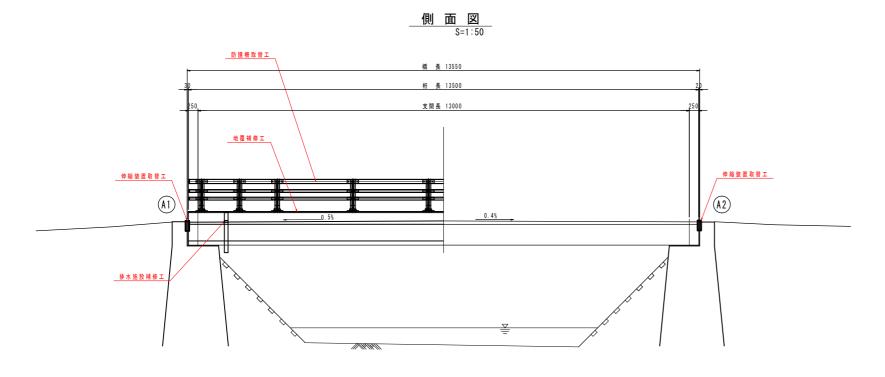
工事番号・工事名

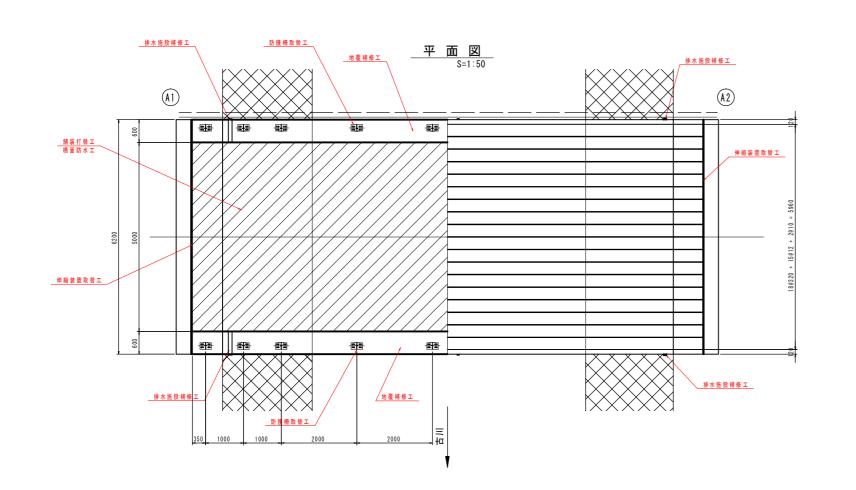
R2

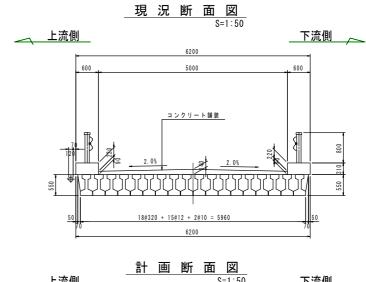
市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事

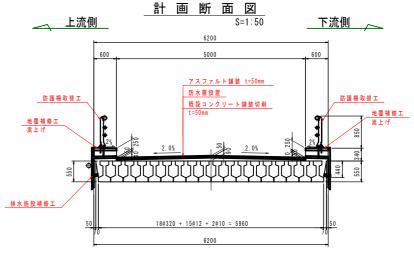
「留意事項」

- 1 参考図書は「真摯で機動性のある見積り」を目的に提示するものである。
- 2 参考図書は、発注者が用いた積算資料を、参考として提示するもので、契約上拘束するものではない。
- 3 参考図書の内容は、設計図書の変更あるいは誤びゅうによるもの以外、設計変更の対象としない。







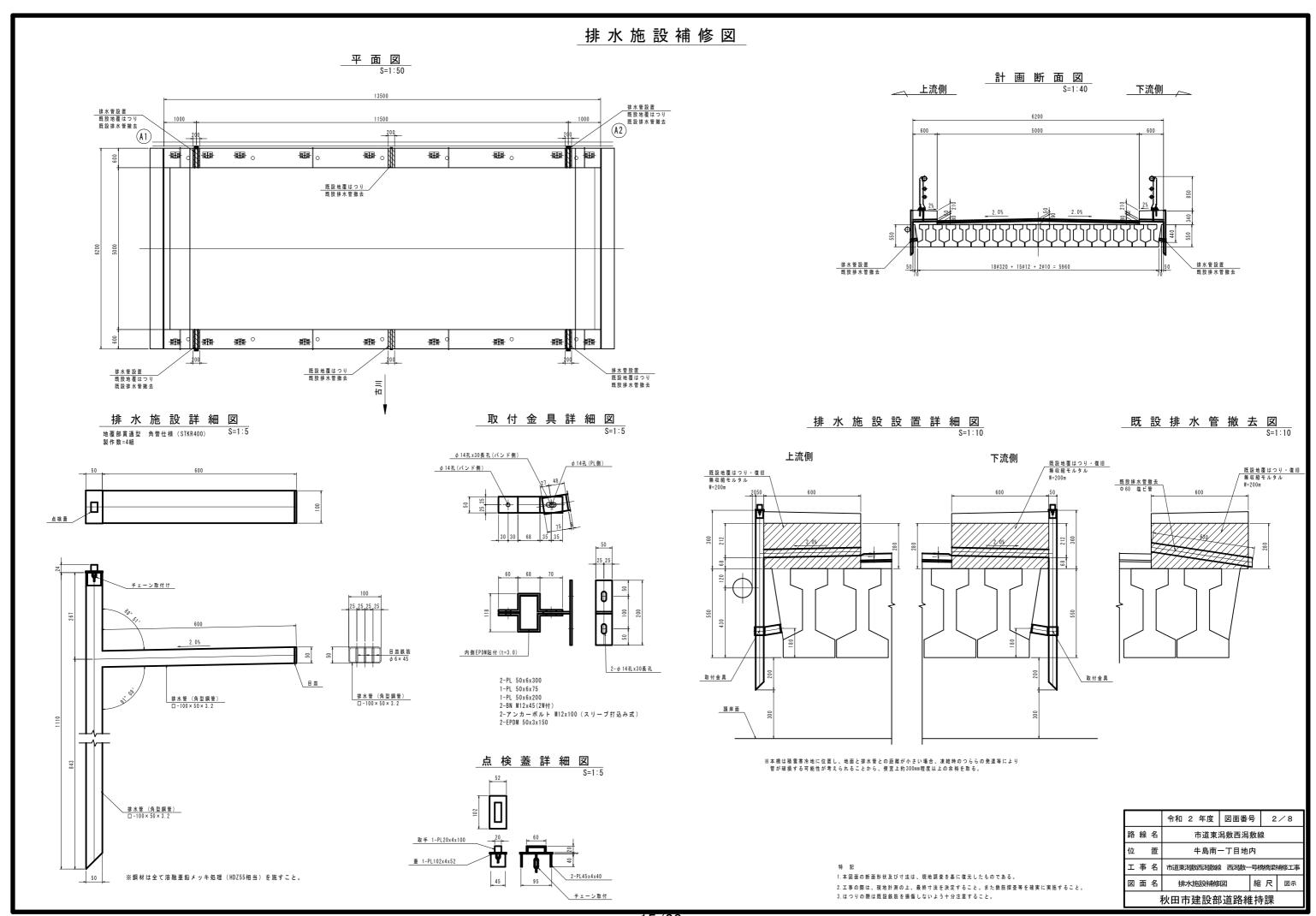


補修対策一覧

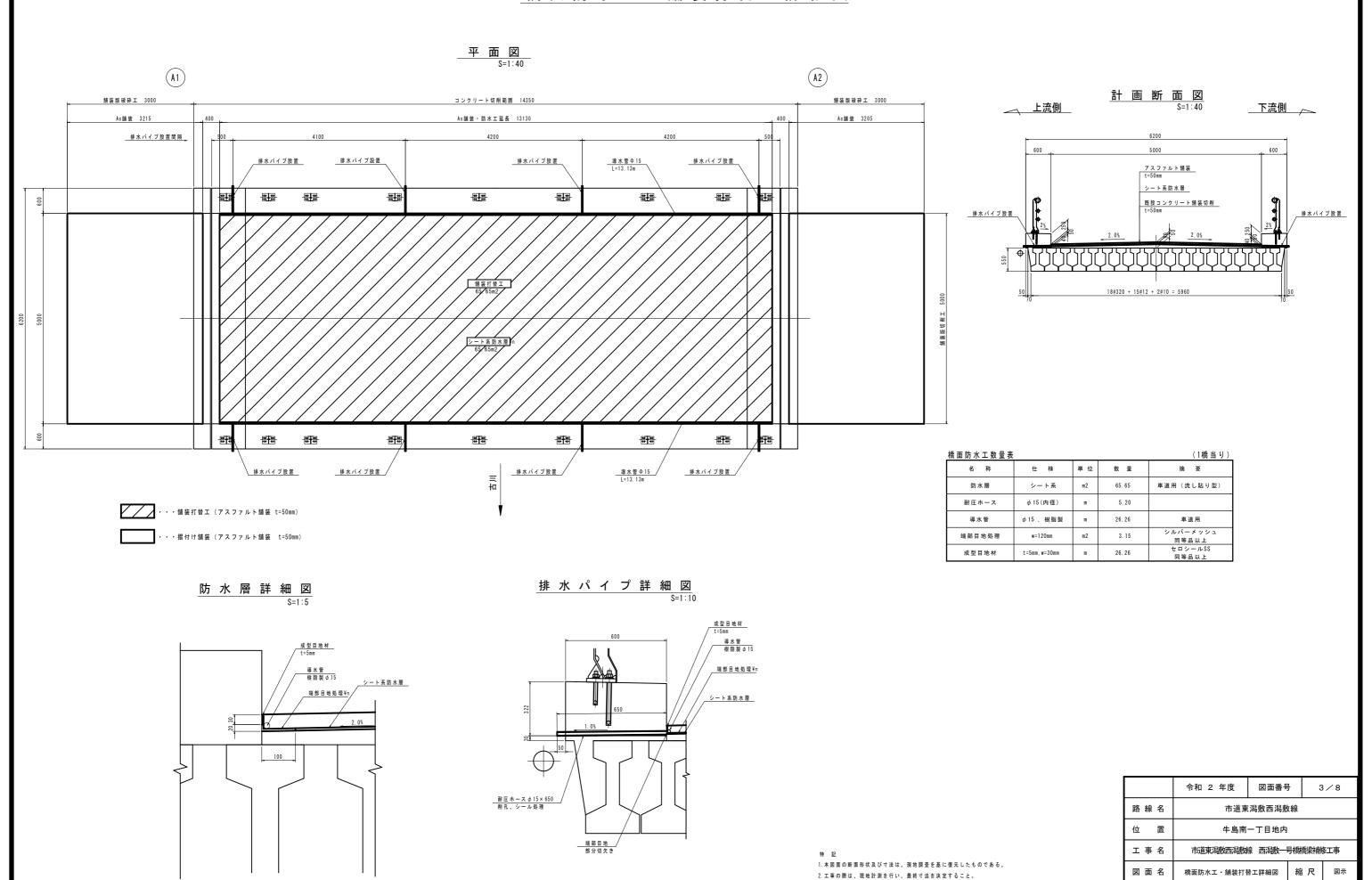
	エ 種	施工箇所	対策内容
	橋面防水工	床版上面	防水層(シート系)、導水管設置
	排水施設補修工	排水管	排水管取替え
橋	舗装打替工	橋面舗装	アスファルト舗装 t=50mm
面工	伸縮装置補修工	遊間部	埋設型伸縮装置取替え
	地覆補修工	地覆	断面修復エ(ポリマーセメントモルタル) 地覆嵩上げエ 水切り設置(後付けタイプ)
	防護柵取替工	防護柵	防護柵取替工(橋梁用ビーム型防護柵)

			既認	设橋	諸元		
	形		式		PC単純プレテンシ	ョン方式[桁	
Ī	橋		長		13.550m		
+	支	間	長		13.000m		
	幅		員		5.000m (全幅6.20	Om)	
部	斜		角		A1: 90°00'00"	A2: 90°00'00"	
	活	荷	重		TL-14		
_ [9	荷	重				
	舗		装		コンクリート舗装		
	支		承		簡易ゴム支承		
	A 1 橋	4	躯	体	重力式橋台		
部	AIM	-	基	礎	直接基礎		
ī	A 2 橋	4	躯	体	重力式橋台		
	AZ個	-	基	礎	直接基礎		
	適用	示 方	書		不明		
	架 設	年 次			不明	·	

	令和 2 年度	図面番号	1	/8		
路線名	市道東潟敷西潟敷線					
位 置	牛島南一丁目地内					
工事名	市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事					
図面名	補修一般図 縮尺 図示					
7	秋田市建設部道路維持課					



橋 面 防 水 エ ・ 舗 装 打 替 エ 詳 細 図

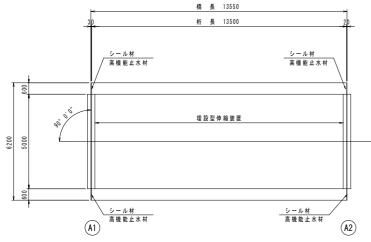


3. 削孔の際は既設鉄筋を損傷しないよう十分注意すること。

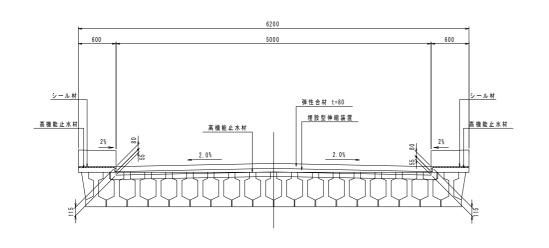
秋田市建設部道路維持課

伸縮装置補修図

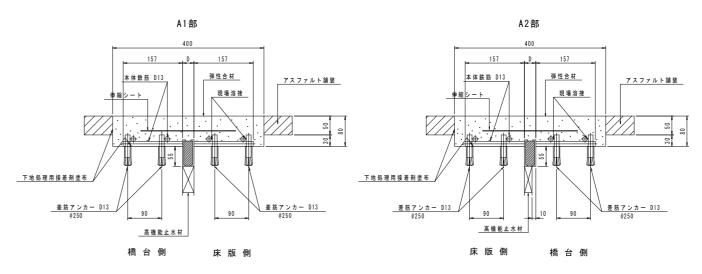
配置図 橋 長 13550 桁 長 13500



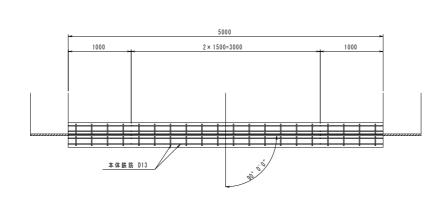
断面図



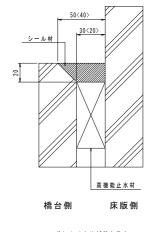
伸縮装置取付断面図



部材平面図



地 覆 部 断 面 図



注)〈 〉内はA2部を示す。

数量表 (設置)

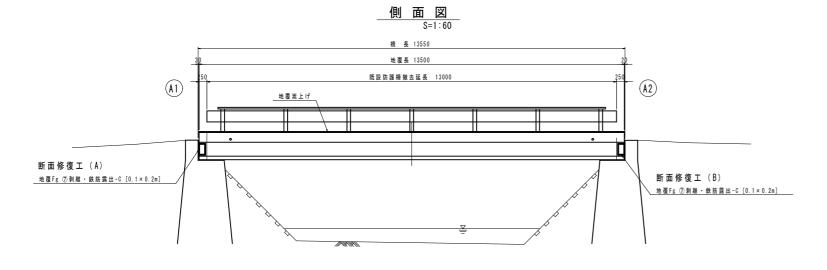
名 称	仕 様	単位	数 量	備考
伸 縮 装 置	埋 設 型	m	10.000	本体鉄筋・伸縮シート装備
下地処理用接着剤	彈 性 合 材 用 乳 剤	kg	2.8	
弾 性 合 材	ゴム系アスファルト	m3	0.384	
止 水 材	高機能タイプ	m	10.000	伸縮部
差筋アンカー	D13	本	160	

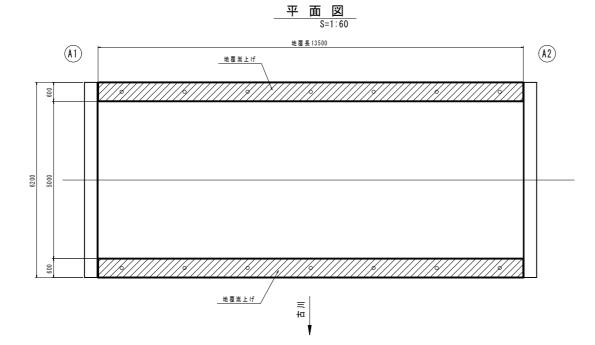
数 量 表 (他 材 料)

里女 (旧竹竹)				
名 称	仕 様	単位	数 量	備考
シール 材	シリコン系	L	2. 1	
止水材	高機能タイプ	m	2.860	地覆部

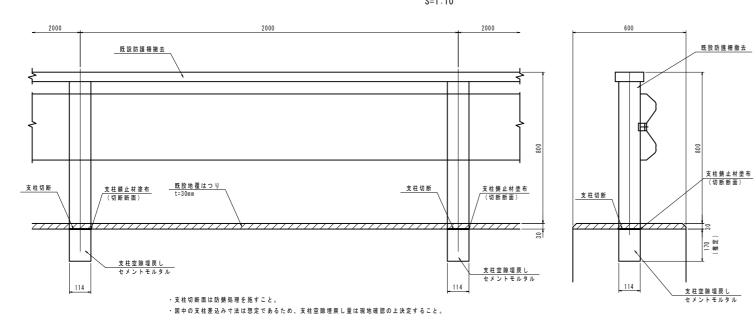
	令和 2 年度	図面番号	- 4	8		
路線名	市道東潟敷西潟敷線					
位 置	牛島南一丁目地内					
工事名	市道東温敷西温敷絲	。 西潟敷 一	楊喬梁	補修工事		
図面名	伸縮装置補修	多図 ;	縮尺	図示		
 秋田市建設部道路維持課						

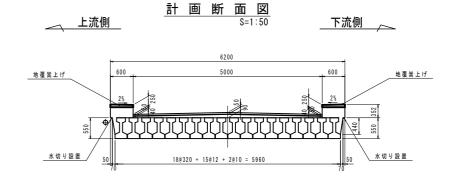
地覆補修図



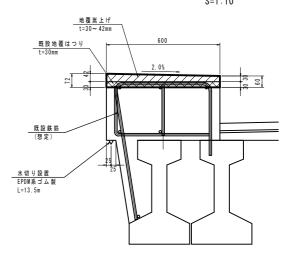


既 設 防 護 柵 撤 去 図





地覆嵩上げ詳細図

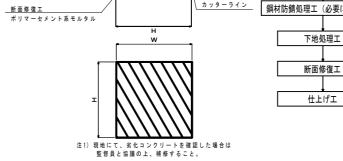


使用材料	
地覆 コンクリート	σck=24N/mm2¥n(高炉セメントB) 最大水セメント比55%以下
水切り	混和材料・膨張材30kg/m3程度 EPDM系ゴム製
	LI DIII N

施工手順フロー

断面修復工詳細図

損傷部除去工 カッターライン 鋼材防錆処理工(必要に応じて) 下地処理工 断面修復工



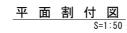
断面修行記号	复工 (鉄筋 H(m)	露出なし) W(m)	寸 法 表 t(m)	N(個)	断面修復体 積(m3)	【 地 春 備考
Α	0.10	0.20	0.02	1	0.00040	
В	0.10	0.20	0.02	1	0.00040	
合計					0.00080	

1. 本図面の断面形状及び寸法は、現地調査を基に復元したものである。 2. はつりの際は既設鉄筋を損傷しないよう十分注意すること。

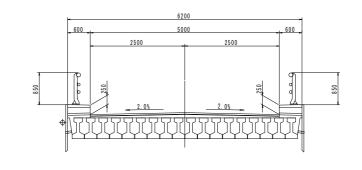
補修工法の凡例						
補修工法の種類	表示					
地覆嵩上げ						
断面修復工 (鉄筋露出なし)						

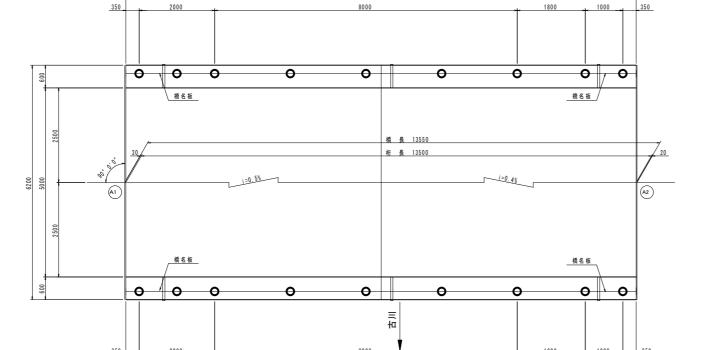
	令和 2 年度	図面番号	5	/8		
路線名	市道東潟敷西潟敷線					
位 置	牛島南一丁目地内					
工事名	市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事					
図面名	地覆補修図 縮 尺 図示					
;	秋田市建設部道路維持課					

防護柵詳細図



断面図 S=1:50

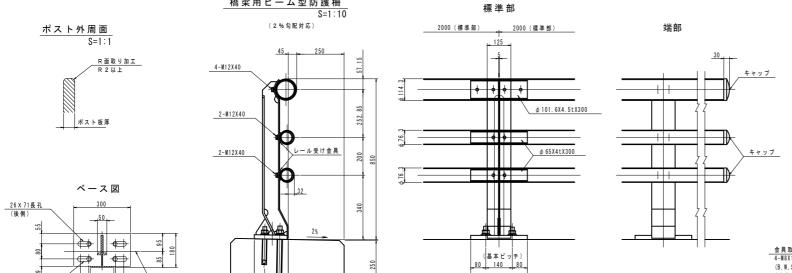




く注記> ・防護棚長およびポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。

名 称	寸 法	材 質	単 重	数 量	重 量
ポスト	845X180X300	SS400	18.49	5.0 本	92.5
レール	φ 114. 3 × 4. 5t	STK400	12.20	9.975 m	121.7
レール	φ 76. 3 × 2. 8t	STK400	5.08	19.950 m	101.3
継 手	φ 101. 6 × 4. 5t × 300	STK400	3. 23	5.0 本	16.2
継手	φ 65 × 4t × 300	STK400	1.81	10.0 本	18. 1
レール受け金具	60X80X2t	ステンレス	0.12	10.0 =	1. 2
止メボルト	M12X40 (B, W, SW)	強度区分:6.8以上	0.06	40.0 本	2. 4
樹脂アンカー用ボルト	M22 X 320 (全ネジB, N, W, SW)	強度区分:8.8以上	1.07	10.0 本	10.7
樹脂アンカー用ボルト	M20 X 195 (全ネジB, N, W, SW)	SS400	0.52	10.0 本	5. 2
				合 計	369.3Kg
防護柵長	L = 27.000 m				
ポスト総数量	18本				

注>橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会で認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。



樹脂アンカー用ポルト(前側) M22X320(全ネジ) (穿孔径: φ28) (穿孔長: 250)

300

レベルポスト定着部

(基本ピッチ) 80 140 80

橋梁用ビーム型防護柵

600 380 (アンカー中心)

125

(基本ピッチ) 45 140 45

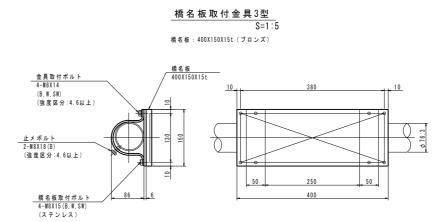
アンカーボルト移動可能寸法

前側

45 140 45 (移動量)(基本ピッチ)(移動量)

230

28 X 73 長 孔 (前 側)



表面処理:溶融亜鉛めっき

注>現地確認のうえ、製作の事。

注>ポスト外周端面はR面取り加工を施す。

・ボルト関係はHDZ35仕上げ。(レール受け金具は未塗装。)

NETIS登録商品 : 登録番号QS-110039-VEを参考

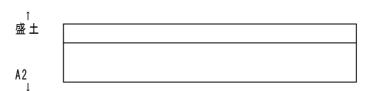
			令和	2	年度	図面番	号	6	/8
路	線	名		市道東潟敷西潟敷線					
位		置	牛島南一丁目地内						
I	事	名	市道東	市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事					
図	面	名	防護柵詳細図 縮 🕽				尺	図示	
秋田市建設部道路維持課									

樹脂アンカー用ポルト(後側) M20×195 (全ネジ) (穿孔径: ¢24) (穿孔長: 130)

注>樹脂カプセルは防護柵材料外、 穿孔径はメーカー仕様に合わせる事

下部工補修図 (A1橋台)

平面図(上から見た図)



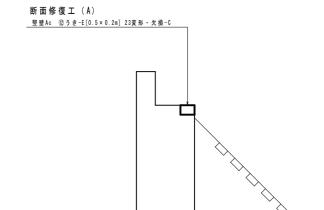
側面図(左側から見た図)

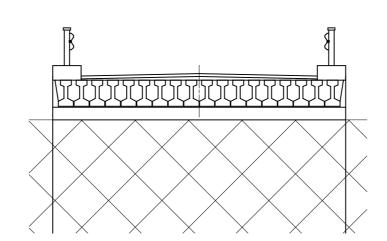
←盛土 L A 2 →

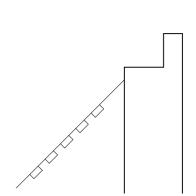
正面図(A2から見た図)

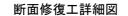
側面図(右側から見た図)

← A 2 R 盛土→

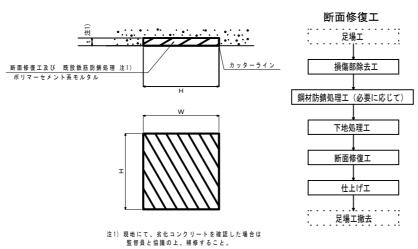








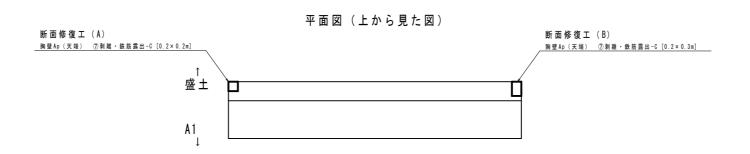
施工手順フロー



記号 H(m) W(m) t(m)	N(個) 断面修復体 備考
A 0.50 0.20 0	.03 1 0.00300 竪壁
合計	0.00300

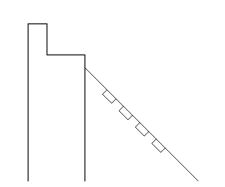
		令和 2 年度	図面番号	7	/8	
路約	息 名	市道東潟敷西潟敷線				
位	置	牛島南一丁目地内				
工事	■ 名	市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋喬梁補修工事				
図	百名	下部工補修図(A	(1橋台)	縮尺	図示	
秋田市建設部道路維持課						

下部工補修図 (A2橋台)

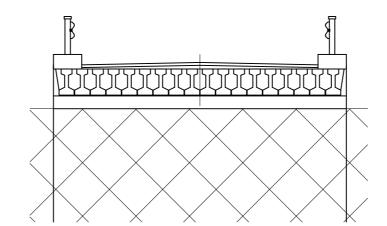


側面図(左側から見た図)

←盛土 L A 1 →

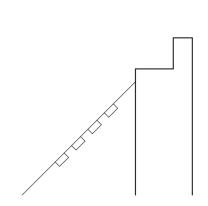






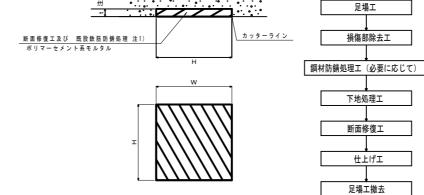
側面図 (右側から見た図)

← A 1 R 盛土→



断面修復工詳細図

施工手順フロー 断面修復工



注1) 現地にて、劣化コンクリートを確認した場合は 監督員と協議の上、補修すること。

ビエルター / 外が表出もし	_ + + ±	F A 1 括 /

四里多	田 夜上(飲別路山なし) 「」仏衣						
記号	H(m)	W(m)	t(m)	N(個)	断面修復体 積(m3)	備考	
Α	0.20	0.20	0.03	1	0.00120	竪壁	
В	0.20	0.30	0.03	1	0.00180	竪壁	
合計					0.00300		

 令和 2 年度
 図面番号
 8 / 8

 路線名
 市道東潟敷西潟敷線

 位置
 牛島南一丁目地内

 工事名
 市道東潟敷西潟敷線
 西潟敷・号橋高梁神修工事

 図面名
 下部工補修図(A2橋台)
 縮尺
 図示

 秋田市建設部道路維持課

数 量 総 括 表(橋梁補修工事)

工事名 : 市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事

工種	種別	細別	規格•条件	単位	数量	設計数量	備考
舗装工	路面切削工	路面切削	コンクリート舗装、切削厚:50mm	m²	65.7	66.0	
		殼運搬(路面切削)	種別:コンクリート殻	m3	3.3	3.0	
		殼処分	種別:コンクリート殻	m3	3.3	3.0	
	舗装打換え工	舗装版切断	アスファルト舗装、舗装厚50mm	m	10.0	10.0	
		舗装版破砕	アスファルト舗装版、舗装版厚5cm	m²	32.1	32.0	
		殼運搬	殻種別:アスファルト	m3	1.6	2.0	
		殼処分	殻種別:アスファルト	m3	1.6	2.0	
		表層	密粒度As(13)改質Ⅱ型、舗装厚50mm	m²	65.7	66.0	
		表層(すりつけ部)	再生密粒度As(13)、舗装厚50mm	m²	32.1	32.0	
		不陸整正(すりつけ部)	補充材RC-40、補充厚t=20mm	m²	32.1	32.0	
	橋面防水工	橋面防水	シート系防水	m²	65.7	66.0	
		水切り設置	EPDMゴム製	m	27.0	27.0	
橋梁付属物工	伸縮継手工	埋設ジョイント補修	伸縮装置:埋設型	m	10.0	10.0	
	排水施設工	排水管	管規格:鋼管	m	6.90	7.00	
	橋梁用高欄工	既存防護柵撤去		m	26.00	26.00	
		橋梁用高欄	材質:鋼製(組立式)	m	27.00	27.00	
橋梁補修工	断面修復工	左官工法	体積:0.1m3未満、材料:ポリマーセメントモルタル、鉄筋ケレン・防錆処理無し	構造物	1.00	1.00	
	既存構造物撤去工	運搬処理工	種別:コンクリート殻	m3	0.60	1.00	
		殼処分	種別:コンクリート殻	m3	0.60	1.00	

質問および回答について

- **1 工事番号** 道橋修 第 12 号
- 2 工事名 市道東潟敷西潟敷線 西潟敷一号橋橋梁補修工事
- **3 入札書締切日** 令和 2 年 8 月 1 8 日
- 4 質問・回答
 - (1) 質 問 本設計図書に対する質問は、以下のとおり行うものとします。
 - ア 提出期限 令和 2 年 8 月 13 日 (木) 午後0時(正午)まで
 - イ 方法 入札参加資格を有する者で、質問のある者は、内容を簡潔にまとめ 質問書(様式集より)に記入のうえ、電子メールでのファイル添付に て、4(1)エの提出先に提出してください。 なお、口頭や電話での受付は行いません。

また、電子メールでの提出に際し、件名を「質問書」としてください。

当該電子メールにて到着確認のメールを返信しますので、返信がない場合は、速やかに下記の提出先まで連絡してください。

- ウ 質問書様式 (工事・委託共通)入札・見積関係様式ページ内【設計図書に対する質問書】 https://www.city.akita.lg,jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002629/1010652.html
- 工 提出先 秋田市建設部道路維持課 [電話]018-888-5751 [E-Mail]ro-csmt@city.akita.lg.jp
- (2) 回答質問への回答は、以下のとおり行うものとします。

ア 回答期限 令和 2年 8月 17日 (月)

イ 方法 回答は、質問者の特殊な技術やノウハウ等に関し、質問者の権利、 競争性の地位、その他正当な利益を害する恐れのあるものを除き、下 記ホームページへ掲載します。 回答では、質問者の企業名等は公表しないものとします。

ホームページ(回答の掲載)

https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/kouzi-nyusatsu-keiyaku/1002625/1010228/index.html